2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	保健保育科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	教育実習事後指導Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	専攻科	学期及び曜時限	前期	教室名	合同校舎302
担当教員	赤松　慶子	実務経験とその関連資格	大阪市の学校法人の幼稚園で幼稚園教諭として勤務、担任として保育業務担う。実習指導も行う。主任として、後輩保育士の指導にもあたる。保育士資格と幼稚園教諭免許		

《授業科目における学習内容》

1回目の教育実習で学んだことを言語化し、自らが幼児教育者になるために必要な自己課題を明確にするとともに、その課題解決のために学習する。

《成績評価の方法と基準》

1.定期試験　70%
2. 出席点　　20%
3. 平常点(授業態度・課題提出等)　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

1回目の教育実習の日誌や資料等。幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)
幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)

《授業外における学習方法》

予習として、1回目の実習日誌や資料を事前に見直す。授業時に指示した次回の内容についてテキストや資料、プリントを読む。復習として、再度、授業で学んだ部分のプリント、テキストを読む。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。授業内容をより具体的に理解し、実践に結びつけるために、現場経験の機会で振り返る。

《履修に当たっての留意点》

教育実習を通して学んだことの省察を 通して、幼児教育者として必要な自己課題を明確にする機会にする。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	教育実習Ⅰにおける自己の学びと反省を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習事後ワークで教育実習Ⅰの振り返り(自己評価)をして、自己の学びと反省を明らかにする。		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	教育実習Ⅰにおける自己の課題を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習事後ワークで教育実習Ⅰの振り返り(グループワーク)をして、自己の課題を明らかにする。		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	明らかにした自己の教育実習の課題をまとめて説明することができる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	自己評価とグループワークで振り返った自己の教育実習の課題について報告できるようにまとめる。		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	教育実習Ⅰで明らかにした自己の課題から、保育の課題を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	実習報告会を実施して、教育実習Ⅰの体験的理解に関する保育の反省と課題を明らかにする。		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	発達理解(3歳児)の課題が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を通して、発達理解(3歳児)の見直しをする。(グループワーク)		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	保育技術（3歳児）の課題が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を通して、保育技術（3歳児）の見直しをする。（グループワーク）		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラス運営（3歳児）の課題が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を通して、クラス運営（3歳児）の見直しをする。（グループワーク）		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	発達理解（4歳児）の課題が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を通して、発達理解（4歳児）の見直しをする。（グループワーク）		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	保育技術（4歳児）の課題が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を通して、保育技術（4歳児）の見直しをする。（グループワーク）		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラス運営（4歳児）の課題が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を通して、クラス運営（4歳児）の見直しをする。（グループワーク）		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	発達理解（5歳児）の課題が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を通して、発達理解（5歳児）の見直しをする。（グループワーク）		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	保育技術（5歳児）の課題が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を通して保育技術（5歳児）の見直しをする。（グループワーク）		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラス運営（5歳児）の課題が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を通して、クラス運営（5歳児）の見直しをする。（グループワーク）		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	明らかにした幼稚園教諭や保育教諭の仕事内容が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を遠して、明らかにした幼稚園教諭や保育教諭の仕事を見直しをする。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	明らかにした幼稚園教諭や保育教諭の相談援助の方法が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 1回目の実習日誌や資料等。	1回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの体験的理解を遠して、明らかにした幼稚園教諭や保育教諭としての相談援助の方法の見直しをする。		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学科	保健保育科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	教育実習事前指導Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	専攻科	学期及び曜時限	後期	教室名	合同校舎302
担当教員	赤松　慶子	実務経験とその関連資格	大阪市の学校法人の幼稚園で幼稚園教諭として勤務、担任として保育業務担う。実習指導も行う。主任として、後輩保育士の指導にもあたる。保育士資格と幼稚園教諭免許		

《授業科目における学習内容》

2回目の実習事前学習の課題の設定を行い、前回より主体的、効果的に実習のねらいを達成するためにどうするのかを計画を立てて学ぶ。また、幼稚園の特徴や幼稚園での子どもの生活をさらに理解する。

《成績評価の方法と基準》

1.定期試験　70%
2. 出席点　　20%
3. 平常点(授業態度・課題提出等)　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

短大通信教育テキスト、教育実習事後指導Ⅰの資料等。幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)　　幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)

《授業外における学習方法》

予習として、1回目の実習日誌や教育実習事後指導Ⅰの資料等を事前に見直す。授業時に指示した次回の内容についてテキストや資料、プリントを読む。復習として、再度、授業で学んだ部分のプリント、テキストを読む。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。授業内容をより具体的に理解し、実践に結びつけるために、現場経験の機会で振り返る。

《履修に当たっての留意点》

教育実習を通して学んだことの省察を 通して、幼児教育者として必要な自己課題を明確にする機会にする。

授業の方法			内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	個別目標を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの反省や課題を踏まえて、全体目標と個別目標を立てる。		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習園の概要について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	実習園に関する事前学習:インターネットなどを使用して、実習園の教育方針等について調査する。		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	具体的な実習日誌の書き方について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰの反省や課題を踏まえて、具体的でわかりやすい実習日誌の書き方についてさらに深く理解する。		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	3歳児の事例の具体的な記入方法について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	3歳児の実習日誌のエピソード記録の実践練習をする。		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	4歳児の事例の具体的な記入方法について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	4歳児の実習日誌のエピソード記録の実践練習をする。		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	5歳児の事例の具体的な記入方法について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	5歳児の実習日誌のエピソード記録の実践練習をする。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の指導案作成と設定保育について説明できる（描画・製作）	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の指導案作成と設定保育を実践する（描画・製作）		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の指導案作成と設定保育について説明できる（遊び、ゲーム）	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の指導案作成と設定保育を実践する（遊び、ゲーム）		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の指導案作成と設定保育について説明できる（音楽活動）	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の指導案作成と設定保育を実践する（音楽活動）		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の指導案作成と設定保育について説明できる（体育活動）	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の指導案作成と設定保育を実践する（体育活動）		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の1日の園生活における全日実習について説明できる	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の1日の園生活の流れを把握した全日実習の指導案作成と設定保育について理解する。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	3歳児の全日実習の指導案作成と設定保育について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	3歳児の全日実習の指導案作成と設定保育の実践をする。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	4歳児の全日実習の指導案作成と設定保育について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	4歳児の全日実習の指導案作成と設定保育の実践をする。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	5歳児の全日実習の指導案作成と設定保育について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	5歳児の全日実習の指導案作成と設定保育の実践をする。		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習園の流れにおける全日実習について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）　教育実習事後指導Ⅰ資料等。	教育実習事後指導Ⅰの資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	実習園の流れにおける全日実習の指導案作成と設定保育の実践をする。		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	保健保育科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	教育実習事後指導Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	専攻科		学期及び曜時限	後期	教室名	合同校舎302
担当教員	赤松　慶子	実務経験とその関連資格	大阪市の学校法人の幼稚園で幼稚園教諭として勤務、担任として保育業務担う。実習指導も行う。主任として、後輩保育士の指導にもあたる。保育士資格と幼稚園教諭免許			

《授業科目における学習内容》

2回目の教育実習で学んだことを言語化し、自らが幼児教育者になるために必要な自己課題を明確にするとともに、その課題解決のために学習する。

《成績評価の方法と基準》

1.定期試験　70%
2. 出席点　　20%
3. 平常点(授業態度・課題提出等)　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

2回目の教育実習の日誌や資料等。幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)
幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)

《授業外における学習方法》

予習として、2回目の実習日誌や資料を事前に見直す。授業時に指示した次回の内容についてテキストや資料、プリントを読む。復習として、再度、授業で学んだ部分のプリント、テキストを読む。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。授業内容をより具体的に理解し、実践に結びつけるために、現場経験の機会で振り返る。

《履修に当たっての留意点》

教育実習を通して学んだことの省察を 通して、幼児教育者として必要な自己課題を明確にする機会にする。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教育実習Ⅱにおける自己の学びと反省を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習事後ワークで教育実習Ⅱの振り返り(自己評価)をして、自己の学びと反省を明らかにする。		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教育実習Ⅱにおける自己の課題を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習事後ワークで教育実習Ⅱの振り返り(グループワーク)をして、自己の課題を明らかにする。		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	明らかにした自己の教育実習の課題をまとめて説明することができる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	自己評価とグループワークで振り返った自己の教育実習の課題について報告できるようにまとめる。		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教育実習Ⅱで明らかにした自己の課題から、保育の課題を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	実習報告会を実施して、教育実習Ⅱの体験的理解に関する保育の反省と課題を明らかにする。		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	適した保育技術(3歳児)方法が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習ⅠとⅡの体験的理解を通して、適した保育技術(3歳児)を習得する。(グループワーク)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	クラス運営（3歳児）の適した方法が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習ⅠとⅡの体験的理解を通して、クラス運営（3歳児）の方法を習得する。（グループワーク）		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	適した保育技術（4歳児）方法が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習ⅠとⅡの体験的理解を通して、適した保育技術（4歳児）を習得する。（グループワーク）		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	クラス運営（4歳児）の適した方法が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習ⅠとⅡの体験的理解を通して、クラス運営（4歳児）の方法を習得する。（グループワーク）		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	適した保育技術（5歳児）方法が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習ⅠとⅡの体験的理解を通して、適した保育技術（5歳児）を習得する。（グループワーク）		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	クラス運営（5歳児）の適した方法が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習ⅠとⅡの体験的理解を通して、クラス運営（5歳児）の方法を習得する。（グループワーク）		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	幼児に適した園生活のための幼稚園教諭や保育教諭の仕事内容を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習ⅠとⅡの体験的理解を遠して、幼児に適した園生活のための幼稚園教諭や保育教諭の仕事内容を理解する。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	幼稚園教諭や保育教諭に適した相談援助の方法が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習Ⅰ・Ⅱの体験的理解を遠して、明らかにした幼稚園教諭や保育教諭として相談援助の適した方法を理解する。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	職場における幼稚園教諭・保育教諭としての適正を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教育実習ⅠとⅡで明らかにした自己の保育課題をもとに、グループワークを通して、職場における幼稚園教諭・保育教諭としての適正を明らかにする。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	職場における幼稚園教諭・保育教諭としての適正を身に付ける方法が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前回のグループワークで明らかにした職場における幼稚園教諭・保育教諭としての適正を習得する。		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分の職業に対する意識を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社） 2回目の実習日誌や資料等。	2回目の実習日誌や資料、使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児教育現場の職業に対する意識の確認（まとめのワーク）を実施し、職場への移行を考える機会とする。		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	保健保育科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	教育実習事前指導Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	専攻科	学期及び曜時限	前期	教室名	合同校舎302
担当教員	赤松　慶子	実務経験とその関連資格	大阪市の学校法人の幼稚園で幼稚園教諭として勤務、担任として保育業務担う。実習指導も行う。主任として、後輩保育士の指導にもあたる。保育士資格と幼稚園教諭免許		

《授業科目における学習内容》

教育実習のねらいを達成するために必要な態度や知識そして技能の習得。また、実習日誌の記載方法や教育技術、実習に関する決まりなどを確認し身に付ける。

《成績評価の方法と基準》

1.定期試験　70%
2. 出席点　　20%
3. 平常点(授業態度・課題提出等)　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

短大通信教育テキスト、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)
幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)

《授業外における学習方法》

予習として、教育関係の授業で使用した資料やテキストを読む。授業時に指示した次回の内容についてテキストや資料、プリントを読む。復習として、再度、授業で学んだ部分のプリント、テキストを読む。授業終了時に示す課題を実施しておくこと。授業内容をより具体的に理解し、実践に結びつけるために、現場経験の機会で振り返る。

《履修に当たっての留意点》

教育実習を通して学んだことの省察を 通して、幼児教育者として必要な自己課題を明確にする機会にする。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	教育実習の概要(目的と意義,心得)について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館) 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　DVD	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション:教育実習とは何か。 視聴覚教材を通して、目的・意義・心得を理解する。		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	教育実習の概要(形式や内容)について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館) 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　DVD	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	視聴覚教材を通して、教育実習の形式(実習内容と段階)と内容について理解する。		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼稚園と幼保連携型認定こども園の特徴(目的、、職員構成、園生活)を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館) 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)　DVD	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	視聴覚教材を通して、幼稚園と幼保連携型認定子ども園の目的や方針、職員構成、園生活について理解する。		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼稚園教諭と保育教諭の仕事内容を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館) 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)DVD	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	視聴覚教材を通して、幼稚園教諭と保育教諭の仕事内容と幼稚園教育及び幼保連携型認定こども園教育・保育の基本を理解する。		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼稚園と認定こども園における3歳以上児の子どもの生活を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館) 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼稚園と認定こども園における3歳以上児の子どもの生活から、発達段階、興味・関心、生活の仕方、遊びの様子を理解する。		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼稚園と認定こども園における4歳以上児の子どもの生活を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼稚園と認定こども園における4歳以上児の子どもの生活から、発達段階、興味・関心、生活の仕方、遊びの様子を理解する。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼稚園と認定こども園における5歳以上児の子どもの生活を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼稚園と認定こども園における5歳以上児の子どもの生活から、発達段階、興味・関心、生活の仕方、遊びの様子を理解する。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習園の概要について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	実習園に関する事前学習：インターネットなどを使用して、実習園の教育方針等について調査する。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	個別目標を説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	実習課題の立て方について理解し、全体目標と個別目標を立てる。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習日誌の書き方について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	実習日誌の書き方について（デイリー記録）理解し、実習日誌記入の実践をする。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の指導案考案と書き方について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の指導案について（指導案の立て方、書き方）理解し、書く実践をする。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の「生活」に関する保育について説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の「生活」に関する保育の検討をする（朝の受け入れ、活動後の片づけ・手洗い・汗の始末など～食事、帰りの会）		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の生活の流れにおける設定保育の説明ができる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の生活の流れにおけるの指導案作成と設定保育を実践する。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の「遊び」に関する保育について説明ができる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の「遊び」に関する保育の検討をする（課題活動、設定保育）		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	幼児の「遊び」に関する設定保育の説明ができる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	幼児の「遊び」に関する指導案作成と設定保育を実践する。		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	保健保育科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	子育て支援活動	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	専攻科	学期及び曜時限	前期	教室名	合同校舎302
担当教員	赤松　慶子	実務経験とその関連資格	大阪市の学校法人の幼稚園で幼稚園教諭として勤務、担任として保育業務担う。実習指導も行う。主任として、後輩保育士の指導にもあたる。保育士資格と幼稚園教諭免許		

《授業科目における学習内容》

本学付属施設の子育てサロン「ふくろう」に参加します。学生と親 子で遊ぶ中で遊びや発達を体験的に学ぶ。また事前の準備や、環境づくり、事後の振り返りで、総体的に学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

1.定期試験　70%
2. 出席点　　20%
3. 平常点(授業態度・課題提出等)　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)
幼稚園・保育園実習まるわかりガイド(ナツメ社)

《授業外における学習方法》

事前の保育案の考案や事前準備と実践後の振り返りレポート作成。
地域子育て支援について、新聞記事、ネット情報、各種資料、文献等で調べる。

《履修に当たっての留意点》

事前の準備をしっかりとして、地域の親子と積極的にかかわり、より適した子育て支援者のスキルを身に付けよう。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体的に地域について知り、気づいたことや感じたことを積極的に発信することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」①の計画・準備		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域や人々とのかかわりを楽しむことを考えた環境構成が説明できる。	前学年で使用したテキストや配布資料	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」①の環境作り		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	自らできることを考え、他と協働しながら実践活動ができ、自らの体験をふり返り、次の実践につなげていくことを説明できる	前学年で使用したテキストや配布資料	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」①実践活動と振り返り(保育参加)		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体的に地域について知り、気づいたことや感じたことを積極的に発信することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」②の計画・準備		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域や人々とのかかわりを楽しむことを考えた環境構成が説明できる。	前学年で使用したテキストや配布資料	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」②の環境作り		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	自らできることを考え、他と協働しながら実践活動ができ、自らの体験をふり返り、次の実践につなげていくことを説明できる	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」②実践活動と振り返り（保育参加）		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体的に地域について知り、気づいたことや感じたことを積極的に発信することができる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」③の計画・準備		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域や人々とのかかわりを楽しむことを考えた環境構成が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」③の環境作り		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	自らできることを考え、他と協働しながら実践活動ができ、自らの体験をふり返り、次の実践につなげていくことを説明できる	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」③実践活動と振り返り（保育参加）		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体的に地域について知り、気づいたことや感じたことを積極的に発信することができる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」④の計画・準備		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域や人々とのかかわりを楽しむことを考えた環境構成が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」④の環境作り		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	自らできることを考え、他と協働しながら実践活動ができ、自らの体験をふり返り、次の実践につなげていくことを説明できる	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」4回目実践活動と振り返り（保育参加）		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体的に地域について知り、気づいたことや感じたことを積極的に発信することができる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」⑤の計画・準備		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域や人々とのかかわりを楽しむことを考えた環境構成が説明できる。	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」⑤の環境作り		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	自らできることを考え、他と協働しながら実践活動ができ、自らの体験をふり返り、次の実践につなげていくことを説明できる	幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館） 幼稚園・保育園実習まるわかりガイド（ナツメ社）	前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」⑤実践活動と振り返り（保育参加）		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	保健保育科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	子育て支援入門	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	専攻科	学期及び曜時限	後期	教室名	合同校舎302
担当教員	赤松　慶子	実務経験とその関連資格	大阪市の学校法人の幼稚園で幼稚園教諭として勤務、担任として保育業務担う。実習指導も行う。主任として、後輩保育士の指導にもあたる。保育士資格と幼稚園教諭免許		

《授業科目における学習内容》

実践を踏まえながら、現代社会における子ども・子育てに関する現状と課題についての理解を深め、保育・教育者として一人ひとりの子どもに適した子育て支援の実践力を身につける。

《成績評価の方法と基準》

1.定期試験　70%
2. 出席点　　20%
3. 平常点(授業態度・課題提出等)　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

前学年で使用したテキストや配布資料等

《授業外における学習方法》

地域子育て支援について、新聞記事、ネット情報、各種資料、文献等で調べる。
学科が推奨する地域でのボランティア活動にも参加する。

《履修に当たっての留意点》

学生自身、主体的に生き生きと子育て支援者の学びをしていきましょう。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体性をもって、振り返りを行うことができ、検討課題について説明できる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」①の実践活動の振り返りと改善への検討		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	人々とのかかわりの中でこれまで学んだことを活かし、改善努力をしながら実践について説明することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	これまでの実践活動のまとめと報告会の準備①		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体性をもって、振り返りを行うことができ、検討課題について説明できる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」②の実践活動の振り返りと改善への検討		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	人々とのかかわりの中でこれまで学んだことを活かし、改善努力をしながら実践について説明することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	これまでの実践活動のまとめと報告会の準備②		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体性をもって、振り返りを行うことができ、検討課題について説明できる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」③の実践活動の振り返りと改善への検討		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	人々とのかかわりの中でこれまで学んだことを活かし、改善努力をしながら実践について説明することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	これまでの実践活動のまとめと報告会の準備③		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体性をもって、振り返りを行うことができ、検討課題について説明できる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」④の実践活動の振り返りと改善への検討		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	人々とのかかわりの中でこれまで学んだことを活かし、改善努力をしながら実践について説明することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	これまでの実践活動のまとめと報告会の準備④		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	主体性をもって、振り返りを行うことができ、検討課題について説明できる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」⑤回目の実践活動の振り返りと改善への検討		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	人々とのかかわりの中でこれまで学んだことを活かし、改善努力をしながら実践について説明することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	これまでの実践活動のまとめと報告会の準備⑤		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	親子が安全で安心できる環境づくりに必要なことを具体的にイメージし、実践に活かした方法を発信することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」における学びの集大成としての報告会前半		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	他社の意見を聞きながら、主体性をもって地域の実情に応じた実践活動を適切な方法で発信することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」における学びの集大成としての意見交換会前半		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	親子が安全で安心できる環境づくりに必要なことを具体的にイメージし、実践に活かした方法を発信することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」における学びの集大成としての報告会後半		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	他社の意見を聞きながら、主体性をもって地域の実情に応じた実践活動を適切な方法で発信することができる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	子育てサロン「ふくろう」における学びの集大成としての意見交換会後半		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域の現状に応じた保育のPDCAサイクルをもとに実践を考え、子育て支援に適した方法を説明できる。	前学年で使用したテキストや配布資料	使用するテキストを事前に読んでおく事。前学年の授業で使用した教育関係のテキストやプリントを、再度読み返し、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	地域での子育て支援拠点についての学びをまとめて、個人の課題を明らかにする。		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	保健保育科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	キャリア開発演習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	450 (15) 時間(単位)
対象学年	専攻科	学期及び曜時限	前期	教室名	合同校舎302
担当教員	赤松　慶子	実務経験とその関連資格	大阪市の学校法人の幼稚園で幼稚園教諭として勤務、担任として保育業務担う。実習指導も行う。主任として、後輩保育士の指導にもあたる。保育士資格と幼稚園教諭免許		

《授業科目における学習内容》

それぞれの目指す職業や資格に向けての実践の機会を通して、社会人・職業人への移行とさらなるキャリアを開発する。

《成績評価の方法と基準》

1.定期試験　70%
2. 出席点　　20%
3. 平常点(授業態度・課題提出等)　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

1, 2年時の使用テキスト、資料等

《授業外における学習方法》

自己キャリア開発に必要な知識や技術を取り入れる

《履修に当たっての留意点》

自己研鑽

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	4月の自己のキャリア開発を明らかにし、説明することができる。	1, 2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	①自己のキャリア実践を振り返り、開発を明らかにし、課題を見つける。		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	5月の自己のキャリア開発を明らかにし、説明することができる。	1, 2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	②自己のキャリア実践を振り返り、開発を明らかにし、課題を見つける。		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	6月の自己のキャリア開発を明らかにし、説明することができる。	1, 2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	③自己のキャリア実践を振り返り、開発を明らかにし、課題を見つける。		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	7月の自己のキャリア開発を明らかにし、説明することができる。	1, 2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	④自己のキャリア実践を振り返り、開発を明らかにし、課題を見つける。		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	8月の自己のキャリア開発を明らかにし、説明することができる。	1, 2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	⑤自己のキャリア実践を振り返り、開発を明らかにし、課題を見つける。		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	4月の自己のキャリア開発に向けての課題を説明することができる。	1，2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	①自己のキャリア実践を振り返りから、明らかにした課題を実践出来る技術や知識を理解する。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	5月の自己のキャリア開発に向けての課題を説明することができる。	1，2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	②自己のキャリア実践を振り返りから、明らかにした課題を実践出来る技術や知識を理解する。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	6月の自己のキャリア開発に向けての課題を説明することができる。	1，2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	③自己のキャリア実践を振り返りから、明らかにした課題を実践出来る技術や知識を理解する。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	7月の自己のキャリア開発に向けての課題を説明することができる。	1，2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	④自己のキャリア実践を振り返りから、明らかにした課題を実践出来る技術や知識を理解する。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	8月の自己のキャリア開発に向けての課題を説明することができる。	1，2年時の使用テキスト、資料等	実践の機会に必要な事前準備と自己振り返り
		各コマにおける授業予定	⑤自己のキャリア実践を振り返りから、明らかにした課題を実践出来る技術や知識を理解する。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			